

共同作業「おてんま」意義考えよう 飯山で来月ワークショップ

飯山市で地域活性化に取り組む一般社団法人「未来社会推進機構」は6月3日、地域で行う共同作業「おてんま」が果たす

意義について、哲学者の内山節さんと考えるワークショップ

プを市文化交流館なちゅうらで開く。集落の人口減少が続く中、持続可能な地域づくりを考える狙い。

内山さんは群馬県上野村と東京で二拠点生活をしている。飯

山市など長野県内での講演会やパネル討論にも参加し、地域社会や農山村集落の役割を提言している。

ワークショップでは、道路や河川清掃、草刈りなどの共同作

哲学者の内山さん参加



内山節さん

業「おてんま」についてグループに分かれて議論し、内山さんが解説やコメントをする。同機

構は「受け継がれた地域づくりの意味を改めて考える機会にしたい」とする。

午後2時〜4時半。参加費500円。予約制で定員50人。申し込みは同機構(☎0269・67・0520)へ。